［ 各イベント申込方法について ］

申込フォームもしくははがきにより
お申し込みください。
応募締切日は各イベントによって異なります。
募集人員を超過した場合は抽選を行います。
申込結果は、イベントの1週間前までに
メールもしくは郵送でお知らせいたします。

【 申込フォームの場合 】

姫路市立美術館ホームページイベント欄の
申込フォームからお申し込みください。

休館中の
イベント情報
お申し込みは
こちらから

※申請には、姫路市オンライン手続ポータルサイトへの新規登録またはログインが必要です。

姫路市
オンライン手続
ポータルサイト

※動作環境により、利用できない場合があります。
※システムから通知メールを送信します。迷惑メール対策を行っている場合は、「@city.himeji.lg.jp」のメールを受信できるよう設定を変更してください。

【 はがきの場合 】

申込は原則として1人につきはがき1枚。ただし、親子・家族・介助者同伴など、同一グループで参加を希望する場合は、代表者がはがき1枚に同伴者全員の情報を記入して申し込むことができます。
（応募締切日必着）

表面
〒670-0012
姫路市本町68番地25
姫路市立美術館「アウトリーチプログラム（12月～3月）」係まで

裏面
・参加希望のイベント名と日付
・氏名（参加する方のお名前を記入）
・住所
・年齢
・当日連絡の取れる電話番号

【 FAXの場合 】

上記裏面の内容を記入して、
FAX.079-222-2290までお送りください。
（応募締切日必着）
※小学生以下は保護者の同伴をお願いします。
※内容や日程が変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。
※美術館HPで最新情報をご確認ください。

全イベントのお問い合わせは姫路市立美術館（Tel.079-222-2288）となります。
各会場ではございませんので注意ください。

イベントのご案内

各イベント参加費無料、事前申込制です。定員を超えた場合は抽選となります（イベント 4 7 8 9 10 をのぞく）。

［ まち歩き ］ 学芸員と一緒に姫路をまち歩き！

1

応募締切：1月28日（木）

描かれた場所を訪れてみよう（第2弾）

姫路市立美術館所蔵の作品の中から現在その場所がどうなっているか絵と比べてみるツアー第2弾。美術館に集合してから、各所を訪れながら作品の魅力や描かれた場所について解説します。今回は町家が多く残る野里方面を予定

日　時／2027年2月11日（木・祝）
10:00～12:00
コース／野里方面（予定）
講　師：当館学芸員
参加費：無料
定　員：15名



内海敏夫
《野里門 旧拘置所前》
1982年



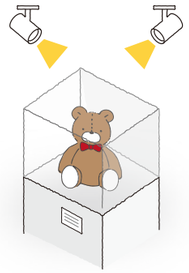
2

応募締切：12月8日（火）

美術館でぬい活！
学芸員があなたのぬいぐるみを全力展示！

お気に入りのぬいぐるみを美術館に持参していただき、コレクションギャラリーで学芸員が全力展示します。展示されたぬいぐるみといっしょに写真も撮れます。
応募の際、解説パネルに載せたい、お持ちいただくぬいぐるみの「お名前」「生年月日」「性格」「好きな食べ物」「寸法」と「画像」をお送りください。
※お持ちいただくぬいぐるみの大きさには上限がございます。（50×50×50cm以内）

日　時／2026年12月19日（土）14:00～
会　場／美術館コレクションギャラリー
参加費：無料
定　員：10名



［ ワークショップ ］ 学芸員と一緒にあなたのぬいを展示しませんか。

［ 講　座 ］ 姫路市立美術館のコレクションの魅力を紹介する講座！

3

美術館、まちへ出る
―学芸員、コレクションへの愛を語る
学芸員によるリレー講座の第2弾！

会　場／MONZEN QWELLビル2階
時　間／14:30～16:00（受付は30分前から）
講　師：当館学芸員　**参加費：無料**
定　員：各回25名

応募締切：12月12日（土）
●第4回「肖像の魅力―西洋絵画と近代洋画」
日　時／2026年12月26日（土）
講　師：二宮洋輔

応募締切：12月19日（土）
●第5回「日本美術にみる女性たち」
日　時／2027年1月9日（土）
講　師：武田季子

応募締切：1月23日（土）
●第6回「作品でたどる彫刻の世界」
日　時／2027年2月6日（土）
講　師：福岡優里

応募締切：2月20日（土）
●第7回「モネをめぐる物語
美術館、海の外に出てみる」
日　時／2027年3月6日（土）
講　師：谷口依子

4

事前申込み不要

美術館、夜のまちへ出る

お勤めの方や商店街の方などを想定して、夜の講座を予定。ふだん聞けない美術館学芸員のお話をのんびり聞く会です。飲食の持ち込み可。

日　時／2027年1月13日（水）18:00～19:30
会　場／七福座　講　師：当館学芸員
参加費：無料　定　員：20名程度

5

講演会

応募締切：3月6日（土）

マティスとデュフィ
色彩が奏でる、ふたつの世界

軽やかな線と明るい色彩で、音楽や海辺、日常のよろこびを描いたフランスの画家、ラウル・デュフィ。2027年は彼の生誕150年にあたります。同時代に活躍した「色彩の魔術師」アンリ・マティスとの比較をとおして、2人の画家の魅力に迫ります。

日　時／2027年3月20日（土）
14:00～15:30（受付は30分前から）
会　場／日本城郭研究センター2階大会議室



講　師：大久保恭子氏（美術史家、京都橘大学客員研究員）
参加費：無料
定　員：80名

ラウル・デュフィ
《ミシェル・ビヌーの肖像》1934年
（國富奎三コレクション）

［ トークイベント ］ 集まる、つながる、姫路のアートを語る。

6

応募締切：2月14日（日）

第1回高田賢三メモリアルデー

2月27日は、姫路出身の世界的デザイナー、高田賢三氏の誕生日です。2027年は、存命であれば米寿を迎える年にあたります。これを機に、美術館では誕生日の前後を「高田賢三メモリアルデー」とし、その功績を次世代に伝える取り組みを始めます。
記念すべき第1回は姫路市内の賢三氏ゆかりの地を学芸員とともに巡るバスツアー＆秘蔵のドキュメンタリー映像を見ながら有識者による講座を開催します。賢三ファンの皆様、この機会にぜひご参加ください。

日　時／2027年2月28日（日）13:30～
（キャスパホール集合）
コース：名古山霊園でお墓参りのあと賢三さんゆかりの地を見学し、アクリエひめじ（409会議室）で講演会。
定　員：40名
参加費：有料
※詳細は美術館HPにてお知らせいたします。
対　象：小学校高学年以上

賢三さんのバースデー・パーティ！
米寿を祝おう！［ 番外編 ］同時開催（有料）
70年代、80年代のディスコを再現した会場で賢三さんを偲びます。米寿の黄色カラーを身に着けて皆様、会場に集いませんか。
※詳細は美術館HPにてお知らせいたします。

7

事前申込み不要

文化観光と
これからのミュージアム
―美術館、博物館がひらく
「オールひめじ」のまちづくり―

美術館・博物館は地域と連携することで、どのようなまちづくりができるでしょうか。博物館法の改正について有識者にご講演いただき、美術館・博物館そして地元の人たちとともに、文化施設ができること、街でのミュージアムの役割について文化観光の視点から語り合い、各館の取り組みや地域の声を交えながら、「オールひめじ」のまちづくりに向けて考えます。

日　時／2027年3月下旬
参加費：無料
※詳細は美術館HPにてお知らせいたします。



［ 展覧会 ］ 休館中ですが、展示も行います！

8

観覧料無料

第80回記念姫路市美術展

戦後間もない昭和21年から始まった姫路市美術展は、今回で80回目を迎えます。今回は会場を姫路市市民会館に移し、絵画（日本画）、絵画（油彩画等）、彫塑・立体、工芸、写真、書、デザインの各部門の応募作品から選ばれた入賞・入選作品を公開します。

日　時／2027年2月24日（水）～3月10日（水）
10:00～17:00
会　場／姫路市市民会館展示室、第6会議室

9

観覧料無料

モネ没後100年記念調査プロジェクト成果発表
モネを問う―《印象、日の出》から《ル・プティ＝ジュヌヴィリエにて、日の入り》まで

モネ没後100年を記念し、フランスのマルモッタン・モネ美術館の協力を得ながら著名な修復家クリスチャン・シャテリエ氏がモネの絵画制作の各段階を実験的に再現した成果を紹介します。2018年に当館と吉備国際大学文化財研究センターが共同で実施した科学分析をもとに、原作品にちかいカンヴァスと顔料を用いて、当時のモネの制作の秘密に迫ります。

日　時／2027年1月12日（火）～1月24日（日）
13:00～17:00
会　場／美術館コレクションギャラリー



作品の前で
再現実験を行う
シャテリエ氏

［ 特別企画 ］ 今年度のプロジェクト締めくくり。

10

現地自由集合

明後日朝顔プロジェクト
お焚き上げ@書寫山圓教寺

「明後日朝顔プロジェクト」とはアーティストの日比野克彦さんが2003年、新潟県十日町市茑平（あざみひら）で始めたアートプロジェクト。朝顔の育成を通じて、人と人、地域と地域をつなぎます。書寫山圓教寺では、朝顔の蔓で「明後日宝珠束」を作り、お焚き上げとご祈祷を行います。

日　時／2027年1月3日（日）14:00～
会　場／書寫山圓教寺摩尼殿
参加費：無料
※別途拝観志納金が必要となります。
※詳細は美術館HPにてお知らせいたします。

姫路市立美術館
アウトリーチプログラム
（12月～3月）



美術館は休館中。まちなかで活動中。





A Walk Through Art And City



姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art



「休館中」というわけで美術館、まちに出ました。

姫路市立美術館は、空調設備等の改修工事のため、2027年12月末まで休館を予定しております。美術館がみなさまにとって開かれた存在であり続けたいという思いから、この期間だけの特別なプログラムをご用意しました。姫路のまちを舞台に、アートに触れる「旅」に出かけてみませんか。

HIMEJI CITY MUSEUM OF ART

このマップの使い方

このマップでは、姫路城と姫路市立美術館を中心とした半径約2km圏内にある文化財や、おすすめの景観スポットをイラストとともに紹介しています。姫路のまちを「アート」をテーマに巡る、旅のしおりのようにお楽しみください。

各イベントの会場は、マップ上に番号で示しています。イベント会場へ向かう際の目印として、また、まち歩きの途中で新たな見どころに出会う手がかりとしてご活用ください。

※本マップは「姫路建築めぐりマップ」の姉妹版です。姫路の建築をより広く巡りたい方は「姫路建築めぐりマップ」とあわせてご利用ください。

まち歩きART MAP

オススメ景観スポット



姫路文学館
1991年に安藤忠雄の設計により開館しました。姫路城をバックに館内を回遊し文学に触れられる空間となっています。





扇観亭（せんかんてい）
シロトピア記念公園内にある黒川紀章が設計した休憩施設です。

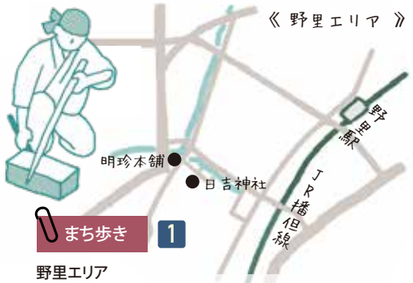
兵庫県立歴史博物館
1983年に丹下健三の基本設計により開館しました。コンクリートの重厚な雰囲気に加えてガラス面には姫路城天守の美しい姿が映ります。



野里エリアへ

N

ノコギリ横丁
一軒ごとに家屋がジグザグに立ち並ぶ歴史的な路地です。身を隠すための「武者隠し」の防衛機能として作られたという説が伝わり、ここ以外にも姫路市内では数カ所に残っています。



まち歩き 1

野里エリア
姫路城築城前から栄えた地域で、神社仏閣や虫籠窓のある町家などが残ります。現在も風情を活かしたお店が多く、散策が楽しめます。

お焼き上げ 10

書寫山圓教寺
1000年を超える歴史を持つ書寫山圓教寺。境内には、国指定重要文化財の摩尼殿や三之堂などが点在します。



男山配水池公園

望景亭

千姫天満宮

姫路文学館

望景亭（姫路文学館内）（ぼうけいてい）
大正から昭和初期にかけて実業家・濱本八治郎が建設した別邸の一部を修復整備したもの。40畳の和室と茶室を備えています。
（国登録有形文化財）

お墓参り 6

名古山霊園
美しい景観と印象的な建築をもつ墓地公園。落ち着いた雰囲気の中で、穏やかな時間を過ごせます。姫路名誉市民が眠る名誉えい地に高田賢三さんのお墓があります。



名古山霊園



好古園
姫路城の西に広がる好古園は、趣の異なる九つの庭園が楽しめる日本庭園。四季折々の草花や池、滝が美しく、歴史情緒あふれる癒やしの空間です。

好古園

好古園前



姫路城

姫路市立動物園

姫路城大手門前

姫路郵便局前

姫路城
別名「白鷺城」。純白の漆喰壁が青空に美しく映えます。世界文化遺産であり、姫路市民にとっても誇りの象徴です。

姫路城内京口門跡

京口駅

オススメ景観スポット

まち歩き・展覧会 1 2 6 9

姫路市立美術館
1905年に宮本平治・井田熊吉の設計により、旧陸軍の西倉庫として建てられ、1913年には北側が増設されました。戦後は姫路市役所として市民に愛され、1983年からは美術館として活躍するレンガの建物。
（国登録有形文化財）

姫路市立美術館

美術館前



オススメ景観スポット



船場エリア・姫路船場別院本徳寺
古くから商人の町として栄えたエリア。御坊さんという名で親しまれる真宗大谷派別院の船場本徳寺や、歴史を感じる老舗店が並びます。
（市指定重要文化財）

船場ビル群

2

大手前公園

播磨国総社射楯兵主神社

イーグレひめじ

姫路モノリス

姫路市市民会館

中央保健センター



中央保健センター
1994年に黒川紀章の設計により竣工しました。自然石を打ち込んだコンクリートの外壁で、重厚な質感を兼ね備えています。

講座会場 3

MONZEN QWELLビル 2階
兵庫ゆかりのフードスタンドやストア、2階にはギャラリーも併設した新しい観光拠点です。



姫路船場別院本徳寺

講座会場 4

七福座
笑いと賑わいにあふれた姫路の演芸スポット。落語や漫才など、多彩な公演が楽しめます。

七福座

大手前通り

まちづくりステーション「街の駅」

姫路市観光交流センターSHIRO TERRACE

オススメ景観スポット



姫路モノリス
1930年に建てられた「旧通信省姫路電信局」。レトロで重厚感のある外観は当時のままに、現在は結婚式場やレストランなどに使用されています。（市指定都市景観重要建築物）

展覧会場 8

姫路市市民会館（姫路市美術展会場）
老朽化のため2027年3月31日をもって閉館します。

トークイベント会場 6

姫路キャスパホール
多彩な公演が開催される多目的ホール。市民に親しまれる文化芸術の拠点です。

山陽姫路駅

姫路駅前

姫路キャスパホール

MONZEN



モノレール跡
1966年に手柄山で姫路大博覧会が開催され、その会場へのアクセスとして作られたのが「姫路モノレール」。利用者の低迷などにより、1974年に休止となり、1979年に廃止となりました。

オススメ景観スポット

JR姫路駅

JR山陽本線

JR山陽新幹線

アクリエひめじ

トークイベント会場 6

アクリエひめじ
姫路の文化と交流を育む複合文化施設。音楽ホールや会議室、屋内外の展示場を備えています。

姫路市観光案内所（姫路観光ナビポート）

もっと姫路を知りたいアナタへ 姫路城下の観光案内所。

姫路市観光案内所（姫路観光ナビポート）
JR姫路駅中央コンコース北西側

姫路市観光交流センターSHIRO TERRACE
大手前通り沿い、ローレルコート姫路1階